

平成11年度 一般会計決算見込み



平成1年度 一 船之五三〇決算表、及 自根市の財政

事 情

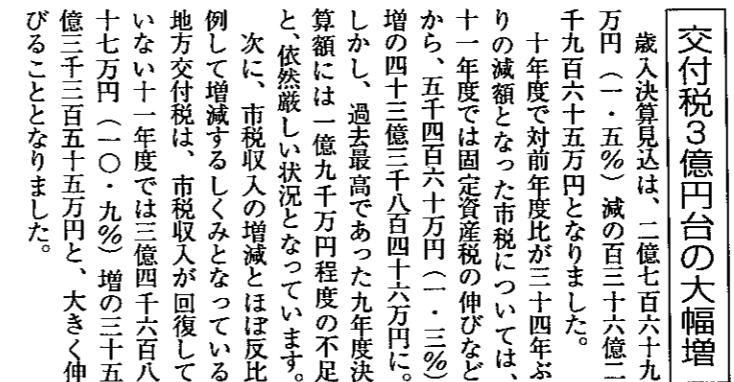
卷之三

つて、減額となっています。

平成十一年度一般会計の決算見込
みがまとまりました。

大きく伸びた民生費

つて、減額となっています。



内費では、私立保育園や介護支援センターやの運営委託料が、施設の増加による伸びを示しています。また国の少子化対策臨時交付金を受けて保育所や公園などの施設整備を実施したほか、介護保険料徴収猶予の財源として国から交付された交付金の基金への積み立てなどを行ったものです。

次いで決算額が大きかつた教育費では、茨曽根小学校の校舎、体育館の改修工事や臼根学習館建設事業などの推進を図ったものです。また総務費では、地域振興券交付事業の展開と、将来の財政運営に備えることとして財政調整基金、減債基金などをへの積立を行っています。

前年度大きく伸びた農林水産業費は事業の終了によって、商工費は主に商工業者向け融資制度の改正によ

二十二年度に繰り越した事業に充てるべき財源六百五十五万円を控除した実質収支は、一億二千四十九万円増の三億五千五百七十万円でした。

当初の見込みほど市税の落ち込みが大きくなかったことと地方交付税の増額によつて、歳入では財政調整基金からの取り崩しの必要がなくなりました。また、歳出では、基金への積立金や市債の繰り上げ償還を実施しました。しかし、依然として歳入の増加を望める要因がないことから、厳しい財政状況であることに変わりはありません。

市では、今後も財政運営の見直しと経費の節減を心掛け、財政の健全化と住民福祉の向上を目指していきます。皆さんのご理解とご協力をお願ひします。

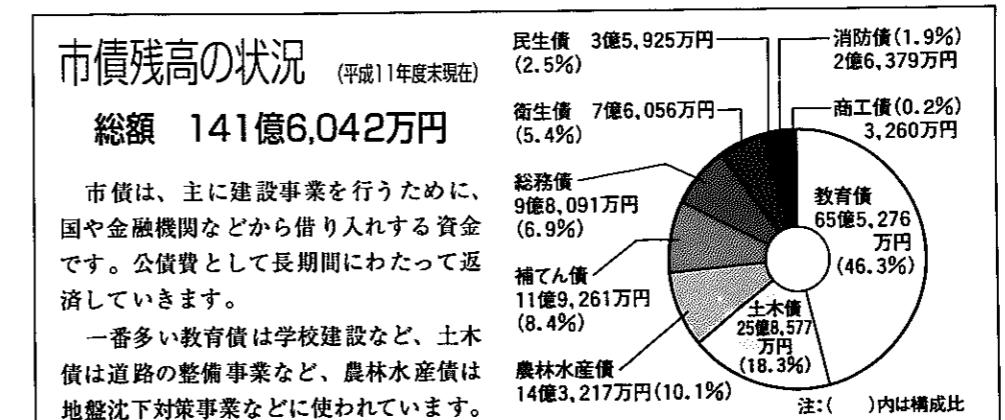
市債残高の状況

1

総額 141億6,042万円

市債は、主に建設事業を行うために、国や金融機関などから借り入れする資金です。公債費として長期間にわたって返済していきます。

一番多い教育債は学校建設など、土木債は道路の整備事業など、農林水産債は地盤沈下対策事業などに使われています。



市民1人当たりの 税負担額

市 民 税	2 8 , 5 5 5 円 (2 8 , 5 5 9 円)
固定資産税	6 0 , 5 0 4 円 (5 8 , 6 1 4 円)
軽自動車税	
たばこ税	
入湯税	
都市計画税	9 , 8 8 6 円 (9 , 4 5 0 円)

※（ ）内は前年度。平成12年3月末現在の人口を使用しています。

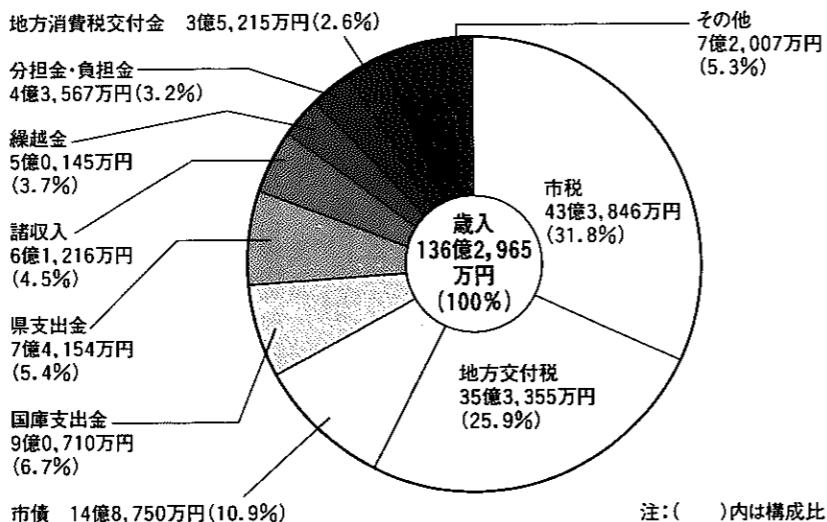
税負担の金額は課税額です。ただし、市民税は法人税を、固定資産税は固定資産等所在市町村交付金を除いてあります。

市民1人当たりの 一般会計決算額

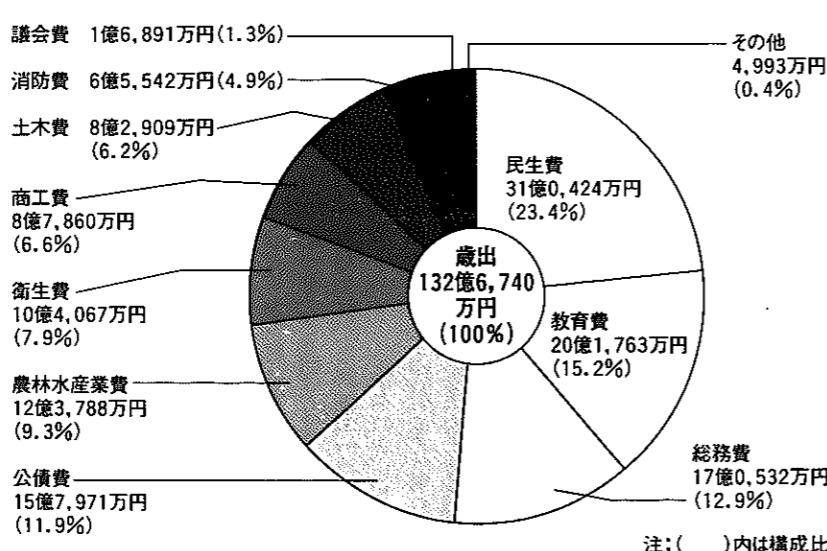
民 生 費	7 6,2 8 4 円 (6 5,2 2 3 円)
教 育 費	4 9,5 8 2 円 (4 9,2 2 2 円)
総 務 費	4 1,9 0 7 円 (3 3,9 7 3 円)
公 債 費	3 8,8 2 0 円 (3 7,3 6 6 円)
農林水産業費	3 0,4 2 0 円 (4 3,3 2 0 円)
衛 生 費	2 5,5 7 4 円 (2 7,3 9 7 円)
商 工 費	2 1,5 9 1 円 (2 7,1 8 2 円)
土 木 費	2 0,3 7 4 円 (2 2,8 9 7 円)
消 防 費	1 6,1 0 6 円 (1 7,6 5 9 円)
議 会 費	4,1 5 1 円 (4,3 2 4 円)
そ の 他	1,2 2 8 円 (1,0 5 2 円)

* () 内は前年度。平成12年3月末現在の人口を使用しています。

一般会計の歳入 136億2,965万円



一般会計の歳出 132億6,740万円



平成11年度の主な建設事業

- | | |
|-------------------|-----------|
| ・農村総合整備事業（モデル型） | 4億2,504万円 |
| ・ミニパーク用地購入費と建設工事費 | 8,196万円 |
| ・観光案内看板設置工事費 | 3,268万円 |
| ・単独道路新設改良工事費 | 1億7,199万円 |
| ・茨曽根小学校改修工事費 | 4,194万円 |
| ・白根學習館建設事業 | 9億1,451万円 |
| ・青年教育センター改修工事 | 3,522万円 |